

第7回 小樽市議会 市民と語る会

ご意見

○平成28年11月24日 蘭島会館

蘭島・忍路は農業・漁業で頑張っている。後継者も出来て頑張っている。忍路の農業は小樽の野菜事情に貢献している。農業が発展すれば後継者が出来て、後継者ができると子ども作って育てて行くので、財政事情だけで考えて欲しくない。小規模であっても、学校があれば、後継者である青年が子どもを育てる。しっかりその視点で考えて欲しい。

避難所の鍵を消防署か消防団の団長のところに置いてもらいたい。改めて要望する。議会の皆が結束して一つ一つ解決していくと議会と市長の軋轢がなくなると思う。な—な—にというのではなく。蘭島の防災についても、予算がない、予算がないではなく、鍵は予算がなくてもできるので協力してやって欲しい。

自衛隊の演習がドリビで行われたが、蘭島に來られては困る。条件があれば他の場所でもやりたいという風にとれるが、蘭島でやらないってことにもならない。市にはモノを言う権限がないというがそれでは困ると言っている。海水浴場を平和利用するという声があっても、蘭島ではこういう意見があったと受け止めてもらいたい。

○平成28年11月25日 市立小樽病院

NTTなどの全道・全国規模のきちとした会社が撤退することは2年前から聞いている。市長と議員も一緒に行ってお願ひするべき。行政に届けるだけではない。資質が問われている。企業にもお願ひにいくべきであった。

国のおんぶにだっこじゃダメ。収入なくては支出できない。

23日、ある政党が小樽駅前で意見を述べていたが、身内の批判をして、首長の名前を呼んで市の批判をしていた。小樽市長の批判ばかりだった。時間帯は日本全国から観光客が来る時間で、政党の宣伝はしても批判はしても時間帯を考えないと恥ずかしい。

市内銭函から蘭島まで20カ所くらいの公衆トイレの写真を撮ったが、市立図書館のトイレは、行政のと真ん中なのに汚い。大便器は使用禁止、飛沫が飛ぶ可能性があるので十分注意をを書いてあったので、市にどうなってるんだと言った。観光都市小樽のまちづくりとして、公衆トイレの状況、誰がチェックして最終責任者は誰か。あまりにもひどい。来年度の予算でどう進めていくのか。

色々旅行に行くが、海老名市は、11万から13万人に復活した。子供の医療費無料化などで横浜から引っ越してきたという人もいる。話をしてみると、小樽は有名で運河のまちですよ—って言われたあと、議会荒れてますねと言われる。人の悪口はだめ、議員の皆さん、負託を受けて当選したのだから。広島に行った時も、運河はきれいだが、議会大変だねと言われた。議員が視察に行つて議会で反映したのかレポートを出しているのか、報告を聞いたことがない。市長が東京小樽会を行かなかただけで批判されたが、お互い様。小樽市民が楽しく遊べ

るまちにして欲しい。

議会が何もしていないというような話をしている人がいるが、市長が政策論争しようと言って、議会では代表質問、一般質問でも政策を語っているが、市長がまともに答えられない。勉強をして欲しいと思う。議会で追及されれば、理事者側がちゃんと答えれば良いみたいなことを言っていた。市長に答えて欲しいと言っても部下が答える。小樽の恥をさらすのは分かるが、議会と市長は車の両輪で、片方が暴走しないようにと、議長は散々言っている。市長はどうですかと止まらないようにしている。しかし、全然市長が答えない。市長ももっと大人になって、真摯に議会に向き合うべき。

質 疑

○平成28年11月24日 蘭島会館

質 問	答 え
蘭島は小樽市内で津波に一番弱い地域で、ハザードマップで黄色のところに5～6割住んでいる。東北のような地震で津波が来たら一発でなくなってしまう。そこまででなくても厳しいし、訓練を重ねたが、大変なことは明らか。蘭島は厳しい地域であるということを認識してもらいたい。要望だが、町会の総会でも上がっているが、津波でなく大波でも護岸を超えて波がくる。消波効果が薄れて来ているので、議会が受け止め、市と道に働きかけて欲しい。平らな地域に避難先があるが、持っていかれる危険があり、避難センターの建設を検討して欲しい。万が一の命に変えられない。研究と活躍を期待している。	(総務常任委員長) 道議会議員に働きかけ、市の方に要望し、我々も研究したい。
学校行くのに時間がかかる。町の中に避難センターがあれば逃げても間に合う。3.11の場合だと10分内外で津波が来るというものもあるが、ハザードマップの策定が道が遅れているので急がせて欲しい。	(総務常任委員長) 今言われたように標高が5mしかないのでセンターをどういう場所がいいのか研究したい。
避難場所が小中学校だが、管理者の市職員は蘭島町内在住でない。余市や蘭島以外におり、いざとなったら来てくれるのか不安。鍵だけでも消防などに預けてもらえないか。	(総務常任委員長) 検討したい。

塩谷も統合され蘭島も人数も少ないし、統合されると父兄はハラハラドキドキしている。今年も1年生が1人から2人、時世でやむを得ないが、村や町から学校が減ると人口が減る一方。子ども集まらなくなる。見通しとしてどうなっていくのか。	(学校適正配置特別委員会委員長) 市内を6ブロックに分けて統廃合を進めているが、この地域は、防災トンネルができて避難所がどうなるのかなど決まってからなので、統合する云々は決まっていない。
海水浴場の組合長をやっているが、銭函のドリビの閉鎖でお客さんが増えたが、今年は開設したので減ると思ったが、蘭島は増えた。この間、先代の組合長から続いて来た、安心、安全、綺麗な海水浴場づくりが功を奏している。引き続き、住民と頑張っていきたい。議会の皆も顔を見せてもらいたい。市の建てた公衆トイレがほとんど内外装を改修せず汚くなっている。近隣では水洗トイレなので喜んでもらっているが、きれいにしたいと要望したい。 年々、きれいな砂浜の砂が減っている。テトロが沈み、浜に砂浜を入れて欲しい。道は冷たくて海水浴場のためにテトロは入れていないと言う。津波のこともあるのでそれが大きな問題なので、前向きにとらえ研究して欲しい。	(経済常任委員長) ご意見について理解できるもの。トイレについては小樽市に働きかけたい。ドリビが昨年閉鎖することになったのは、市が直営で大きな予算を投じて開設しようとしたが、他の海水浴場と公平公正な税金の使い方でないということで開設できなかった。市内の海水浴場が健全に運営できるよう考えたい。
ふれあいパスについて、来年度上がる予定か。年寄り心配している。 将来への対応を考えないといけない。	(厚生常任委員長) とりあえず、利用制限はしないが、今、アンケート調査している。今後については議論になるが、来年度は見送られる。
役所からの書類がわかりづらい。これからも高齢者が増えるので分かりやすくして欲しい。	(厚生常任委員長) 役所の書類は堅苦しくて難しい。書類ありすぎて非常に分かりづらい。どうしたら市民にわかってもらえるか、議会から要望する。
除雪が来ないので農家の人に頼んで排雪してもらっている。	(建設常任委員長) 場所を確認させて欲しい。
少数派の住民の願いだが、私道沿いに住む住民は、私道にお金を出して自分でやっている。公	(建設常任委員長) 高齢者が増えたところは除雪もできないの

道と同じと要望しないが、10 回に 1 回でも 20 回に 1 回でも生活道路に入って欲しい。道路がそれなりにあるので、前向きに検討して欲しい。業者にお金を払って出費になっている。	で切実な問題。そういう場所が増えるので、地域の若者かボランティアか市がどういう方向で解決できるか研究したい。
空き家について、建設部にお話をしているが、2 年もの間、道路から見えるところはちゃんとしていても、家から見えるところは崩れている。持ち主は蘭島にいるが、直接言ってケンカしたくない。毎日その空き家を見て苦痛。そういう場合はどうしたら良いか。	(建設常任委員長) 市内でも空き家が崩れかけているところがあり、台風で飛散する場合は対応をしているが、片付けは所有権があり、なかなかできない。国の特措法に基づき行政代執行できるが、小樽市では、協議会の答申を受けて議論するところで、市がどこまで対応できるのか考えたい。住所を教えて欲しい。
駅前の遊び場の遊具が崩れてきている。蘭島には 2 箇所作るということだったが、駅前に一個ある。サガさんのお父さんが、一生懸命頑張ってくれたが、遊ぶ遊具も古くなっている。	(建設常任委員長) 建設部が所管になっている。公園については整備計画があり計画的に進められているが、現地を確認し、後日伝える。
老人クラブで市から委託されて毎月 15 日、公園の点検をしている。ブランコの調子が悪いということで見て連絡して治っているが、砂を入れてと言っているがそれはされていない。滑り台もステンレスが曲がっている。	(建設常任委員長) 滑り台は危険なので公園課に言って来年度直すようにしたい。
いつも新聞を賑わしているが、ここのところ落ち着いているように思う。市民としては、何をやってんだという感じ。どっちが良いとか悪いとかではなく、小樽は笑われてちゃう。頼みますよ。	(議長)どっちが良いとか悪いとかではなく、信頼関係がないと物事が進まない。意見が違っても信頼関係がないと議論が成り立たない。ぜひ議会も委員会も傍聴出来るので、そういったところを見て頂ければご判断頂けるかなと。俗に言う議会が市長をいじめているという声があるが、議会の監視機能を働かせないと、それこそ何やっているんだと言われる。しっかり議論をしないといけない。萎縮してはいどうぞとはならない。機会があれば傍聴して頂ければと思う。仲良くやっていきたいのですが、中々でない。市長と議会の言い分があるが、第 3 回定例会で市長の責任を問うという形になったが、皆の理解を得られたらと思う。新聞報道しか情報

	がないのかもしれないが、しっかり頑張ります。
消防署の塩谷とオタモイが統合されたが、蘭島から遠くなったが配慮しているのか。	(総務常任委員長) 高規格救急車が配備され、消防力を高めている。市民に迷惑をかけるような配置ではなく、距離は遠くなるが、市民の命を守るために責任を持って取り組んでいる。

○平成28年11月25日 市立小樽病院

給食センターは、以前は2か所にあったが、子どもたちの安全はどうか。	(総務常任委員長) 雑菌除去室などがある最新の設備から学校に運べる。信頼している職員が精一杯取り組んでいる。施設見学も実施している。
朝里ダムが崩壊した時はどうしたらいいか。	(議長) ダムは道の管理下で、ご心配の決壊の対応などしっかり訓練はしているし、対策もしている。前に朝里川のサイレンが遅れ反省した結果、施設の機材を更新しているので、今後は遅れないようにと聞いている。確かに事故があると大変。私どもも市や道に要望したい。
高島漁港の観光船事業について、ラファの代表だが、観光振興を目的に設立した会社で、青の洞窟や積丹のクルーズを行うため、関係機関に足を運んで許可を得たつもりが違法だと言われた。市長を応援したが、不適切な対応を市長もよし分かったということはない。許可前に係船していない。	(経済常任委員会) 先ほど報告したとおり、経過を説明したが、小樽経済発展を妨げるのではなく、事実関係を時系列で確認して質疑をしたがかみ合わなかった。
高島漁港の観光船事業について、係船の許可をもらってお金を払っている。フックと付けて工作物を作ったとかのちのち問題にならないのかと何度も何度も市に足を運んだ。もっと調べて下さい。利益誘導ではない。ほかの観光船	(議長) 我々は行政に手続きのことで質問している。

はどうなっている？北運河には許可がない船が停まっている。なんでか。小樽市に迷惑をかけないということでやっており、札幌から20名を雇用している。	
市立病院について、今年5月にけがをして検査してもらった。薬をもらうことになったが、薬局ではジェネリックの説明がなかった。札幌であるのに。高くていらないと言った。市立病院の評判が良くない、いい先生がいない、健全なあり方を小樽市民のために考えて欲しい。	(厚生常任委員長) 今は院外処方になっているが、説明がないのはまずいのできちっと説明するようにしたい。地域連携室を立ち上げ地域と連携するようにし、2020年度までに黒字にするため経営策定会議が立ち上がるがぜひご意見を寄せて頂きたい。
排雪について、運んできた雪を海に捨てると海が汚れる。運河に捨てている。町内会長をしていて運河ではなく雪捨て場に捨てるべきだと言っている。海に流れたゴミは祝津の漁港に流れている。海に捨てると金がかかるので、町会で空地があれば貸している。うちの会社も2か所貸している。みんなが協力すれば海に排雪しなくても済む。	(建設常任委員長) 状況を確認する。空地の対策として使っても良いというところの話を聞いている。とけたあとのゴミをどうするのか、助成対応出来るのか、議論をして進めたい。
空き家がかなり数がある。高島の空き家について、風が強いと倒壊の危険があり春から対応をお願いしている。空き家をA-Dとランクつけてはどうか。	(建設常任委員長) 管理状況については、良好、準不全、不全の3つに分けて実態調査している。高島の空き家については市の対応を確認したいので住所を教えて欲しい。
排雪について、海に捨てると海上保安が困るので、廃校した学校を活用するよう議論して欲しい。狭いところもあるが。	(建設常任委員長) 今年度から塩谷中のグラウンドに堆雪することになっているが、近隣住民の声もあり慎重に進めたい。
排雪予算を余らせるのではなく、昨年4000万だったが、結構うちの町会も雪山が消えなくて、できれば予算を使って。	(建設常任委員長) 議会でも議論したが、市長は、現場が排雪したいと言ってもまだ待ってと抑制していたので、議会も進めて欲しいと言ったが、抑制の中で工面された結果。